

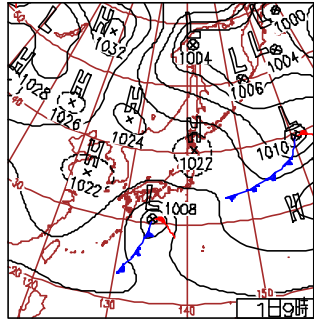
日々の天気図

No. 11

2002年 12月

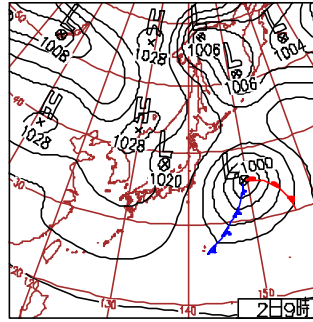
- ・ 4日、千葉県で非常に激しい雨。銚子の日雨量128mm。
- ・ 9日～11日、各地で初雪、青森は大雪。東京の12月積雪は11年ぶり。
- ・ 17日、日本海を東進し発達した低気圧により、東北地方に暴風警報。
- ・ 26日～27日、強い冬型の気圧配置。日本海側は雪、北海道で交通障害。

(気象庁予報部予報課)



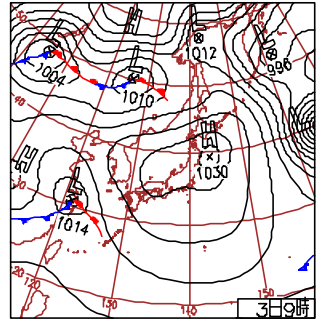
1日(日)「はやく」八戸へ

高気圧圏内で北日本は晴れ、八戸まで延びた東北新幹線も青空の下。低気圧の影響で東日本以西の太平洋側は雨で日中の気温低め。東京では平年より8日早いイロハカエデ落葉。



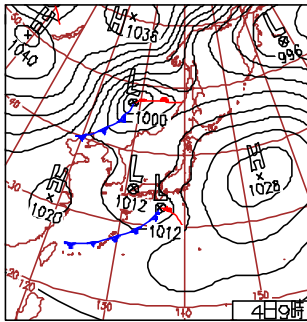
2日(月)北陸と関東南部で不安定

上空に寒気を伴った低気圧の影響で、北陸と関東南部で不安定な天気。その他の地方では概ね晴れて穏やか。北アルプスに冬山情報第1号、昨年より4～5倍の積雪。



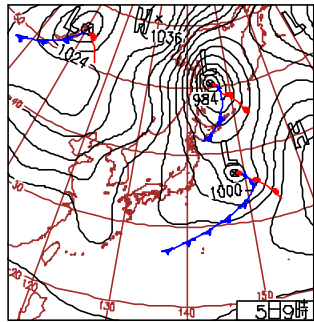
3日(火)北海道真冬並の冷え込み

高気圧に覆われて全国的に晴れ。放射冷却が強まり、最低気温は北海道旭川で-12.2、空知支庁朱鞠内で-19.6など1月中旬並み。九州は午後から低気圧の接近で雨。



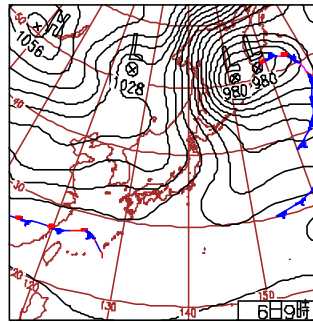
4日(水)千葉県で大雨

本州の南海上を低気圧が通過し、全国的に雨となるが西日本から次第に回復。17時までの1時間に鴨川78mm、館山58mmの非常に激しい雨。潮岬で平年より13日早くツバキ開花。



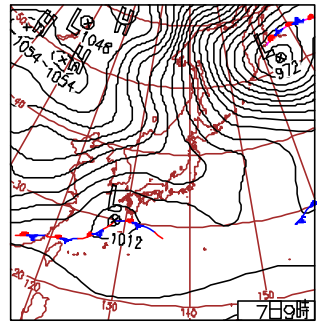
5日(木)冬型の気圧配置

サハリン東の低気圧は発達中。北海道広尾で26.2m/sの最大瞬間風速を観測。北日本を除いて暖かく、10月下旬から11月中旬並みの気温。静岡、大阪でイロハカエデ落葉の最早記録。



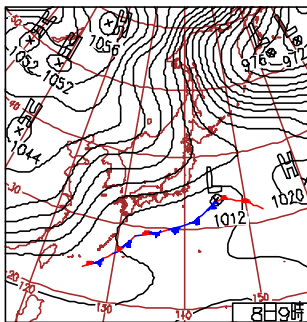
6日(金)秋田沖ハタハタ漁続く

オホーツク海で低気圧が発達、冬型の気圧配置続き北海道に寒気が入る。北日本では雪で、秋田沖の波浪は3m前後。下関では、平年に比べ8日早いイロハカエデ落葉。



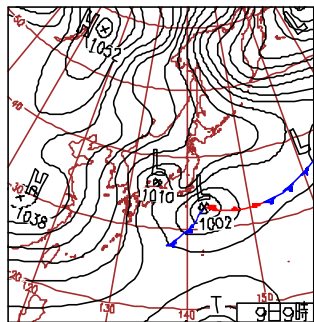
7日(土)北海道で真冬日

日本列島は寒気の中にすっぽり入り真冬並の寒さ。北海道では最高気温が0未満の真冬日。全国的に曇りや冷たい雨。鹿児島県屋久島では低気圧の接近で日雨量146mm。



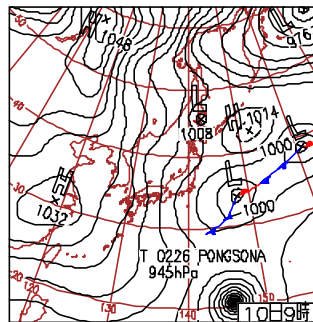
8日(日)台風がグアム島直撃

北日本は冬型の気圧配置、日本海側や本州中部の内陸は雪。関東以北は真冬並みの寒さ。本州南海上に前線が停滞し、関東以西の太平洋側は雨。グアム島は台風第26号で強風被害。



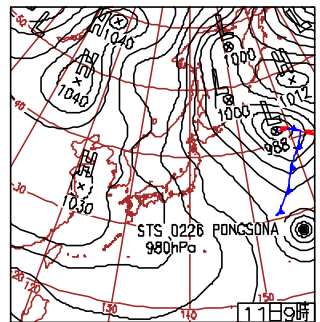
9日(月)首都圏混乱の初雪

上空の強い寒気と南岸低気圧により、関東各地で雪が降り首都圏の交通機関に大きな乱れ。最深積雪は、東京1cm・横浜3cm・千葉5cm・宇都宮17cm。東京の12月積雪11年ぶり。



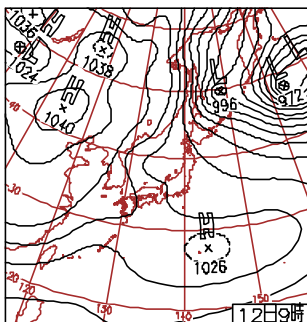
10日(火)各地で初雪

冬型の気圧配置。太平洋側で晴れ、日本海側で雪か雨。全国的に気温は平年より低め。東海・近畿・中国・四国・九州の各地で初雪。高松は平年より16日、徳島は15日早い。



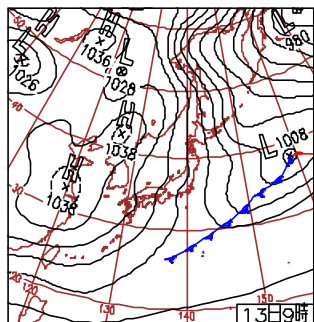
11日(水)青森で大雪

寒気流入し北陸以北で大雪。青森は1日で67cm積もり、観測史上1位。太平洋側では全般に晴れ、朝夕気温下がり関東以西の各地で初霜・初氷。室戸岬で平年より27日早い初氷観測。



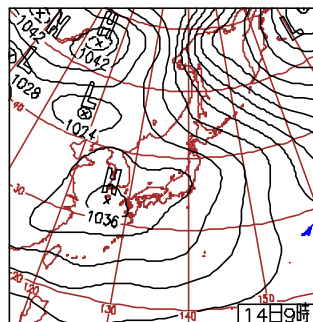
12日(木)津軽北部に大雪警報

寒気が北日本を覆い、北海道の日本海側と東北・北陸で雪。青森県津軽北部には昨日に続き大雪警報。同県内でJRの列車一部運休や臨時休校。銚子で初霜、御前崎で初氷を観測。



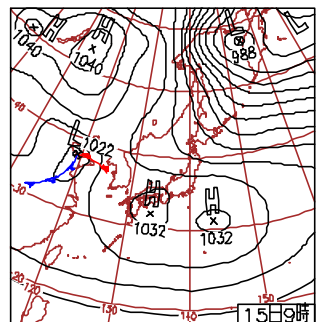
13日(金)各地で真冬並みの寒さ

冬型の気圧配置で日本海側は雪、他は晴れまたは曇り。札幌は12cmの降雪。気温は全国的に低く、倶知安の最低気温-19.2。沖縄から札幌への観光客、寒さと雪で震え上がる。



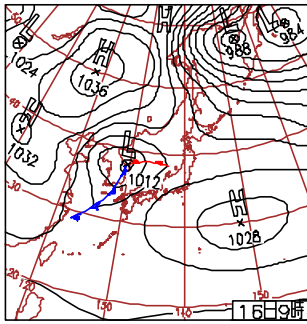
14日(土)冬型の気圧配置緩む

北日本の日本海側で雪や雨が残るが、札幌では最高気温3.6、8日ぶりに0を上回る。その他は高気圧に覆われ全国的に晴れ、朝の冷え込みは厳しく平年以下の所が多い。



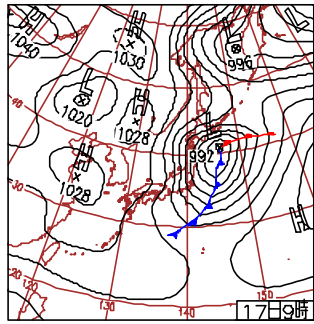
15日(日)比較的穏やかな休日

東・西日本は移動性高気圧に覆われ晴れ。北海道で雪、東北の一部で雨。放射冷却により東日本の内陸部で冷え込み、長野県宮平で-17.6。下関で平年より24日早い初霜を観測。



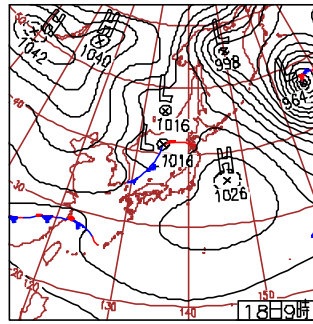
16日(月)日本海低気圧発達

低気圧の通過に伴い、雨域が西日本から東日本へ移動。日中、南風で全国的に11月中・下旬並の気温。顕著な暖気が流入した鹿児島県高山町で11時までの1時間に30mmの雨。



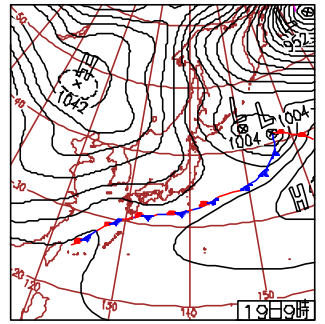
17日(火)各地で強風

低気圧が北日本を通過し東海上で発達したため、各地で強風。最大瞬間風速は、福島県白河38.6m/s・八丈島37.2m/s・室戸岬32.1m/s・千葉県銚子30.2m/s。東北地方に暴風警報。



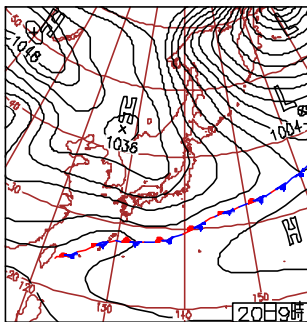
18日(水)穏やかな日

移動性高気圧が関東の東へ遠ざかり、晴れまたは曇りの比較的穏やかな天気。午後は日本海北部に低気圧が進み、北日本の日本海側で雨または雪が降り出す。



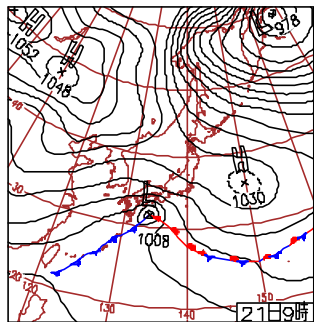
19日(木)3か月予報に新手法

北日本は冬型の気圧配置が続く雪や雨、低気圧影響で九州南部は朝の内までやや強い雨、東・西日本の太平洋側も所々で雨。3か月予報にアンサンブル数値予報を導入すると発表。



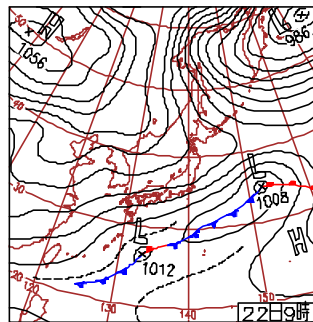
20日(金)北日本冬型の気圧配置

北海道のオホーツク海側と日本海側では雪。十勝支庁陸別で-22.6など北海道で冷え込んだが、その他は割り暖かだった。米ミシシッピ洲で竜巻発生、約50人負傷。



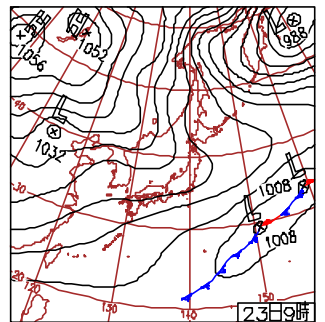
21日(土)甲信地方雪

低気圧が日本の南海上を東進。雨域は西日本から東日本に移り、甲信地方や関東北部では雪。北海道の日本海側でも雪、その他は曇り。



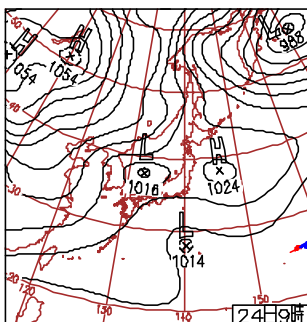
22日(日)南北の気温差30以上

南海上の前線や低気圧の影響で、東日本の太平洋側は曇り。気温は西日本で平年より高く、東日本以北では低い。最低気温は沖縄県那覇19.4、北海道帯広-14.5、その差33.9。



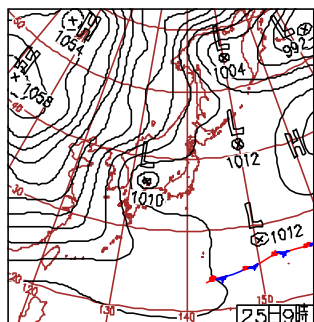
23日(月)日中は西日本で暖か。

冬型の気圧配置。北日本の日本海側は雪、北陸から山陰は雨。太平洋側は晴れ。九州・四国は天気下り坂。日中は西日本で11月下旬～12月中旬並みの暖かさ。



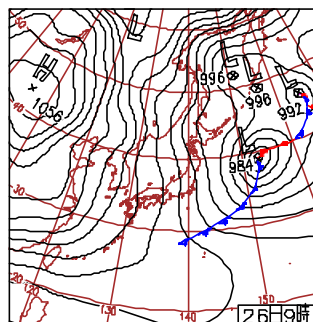
24日(火)日本海低気圧

弱い低気圧が日本海を東進し、日本海側を中心に曇りや雨。東海以西の太平洋側は晴れ。関東地方の最高気温は平年より4度前後低い真冬並みの寒さ。



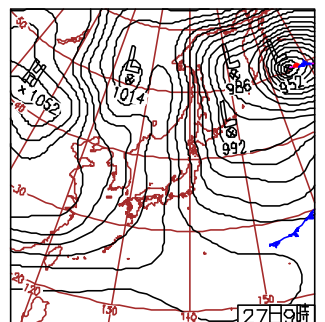
25日(水)各地で強風

次の低気圧が日本海を発達しながら東進。北陸・東北などに大雪に関する気象情報。八丈島で最大瞬間風速35.6m/s。福江で初雪を観測。米国東部で大雪、交通事故の死者も出る。



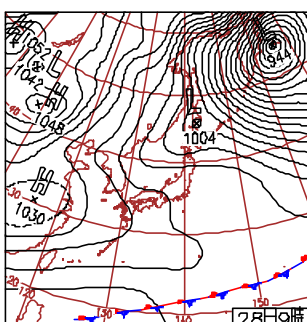
26日(木)強い冬型の気圧配置

北海道上空に-40以下の寒気が入り、強い冬型の気圧配置。北日本から西日本の日本海側を中心に雪。旭川市江丹別で-30.5。大阪・津・神戸で初雪を観測。松山で梅開花。



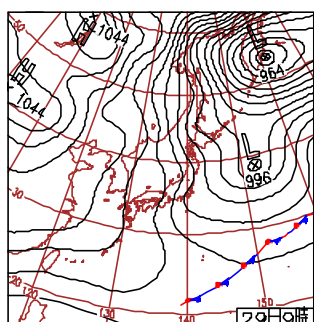
27日(金)北日本で交通障害

強い冬型の気圧配置が続き、北海道で雪により飛行機の欠航。JRの運休。宮城県大和町の東北自動車道で地吹雪で20台が玉突き事故。名古屋の私鉄では寒さでレール破損。



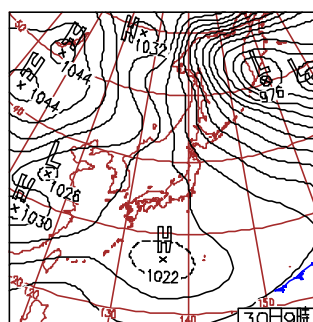
28日(土)太平洋側空気乾燥続く

冬型の気圧配置が崩れ、北日本を弱い気圧の谷が通過。日本海側は雪や雨の所が多く、太平洋側は晴れて空気が乾燥。朝は全国的に冷え込み、最低気温は真冬並みの所が多かった。



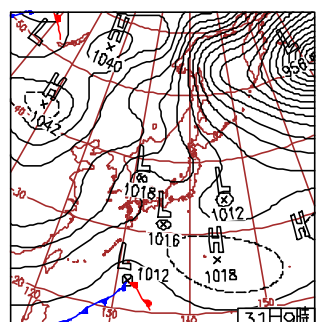
29日(日)積雪2mを超える

北海道上空に強い寒気が入り、日本海側は雪や雨、太平洋側は晴れ。東京でも最低気温0.0。最深積雪は、青森県酸ヶ湯206cm・北海道幌加内203cm・朱鞠内201cm。



30日(月)冬型の気圧配置緩む

北日本で弱い冬型の気圧配置。北陸、東北地方、北海道日本海側などで雪。気温は全国的に平年並みかやや低め。岡山後楽園で、元旦恒例の縁起物タンチョウの飛び立ち訓練。



31日(火)関東雪の大降日

北日本も冬型の気圧配置が緩み、日本海側の筋状の雪雲も消えた。日本海と本州南海上を小低気圧東進。山陰で時雨、北陸以北は雪。夜には関東・甲信地方で年越しの雪。